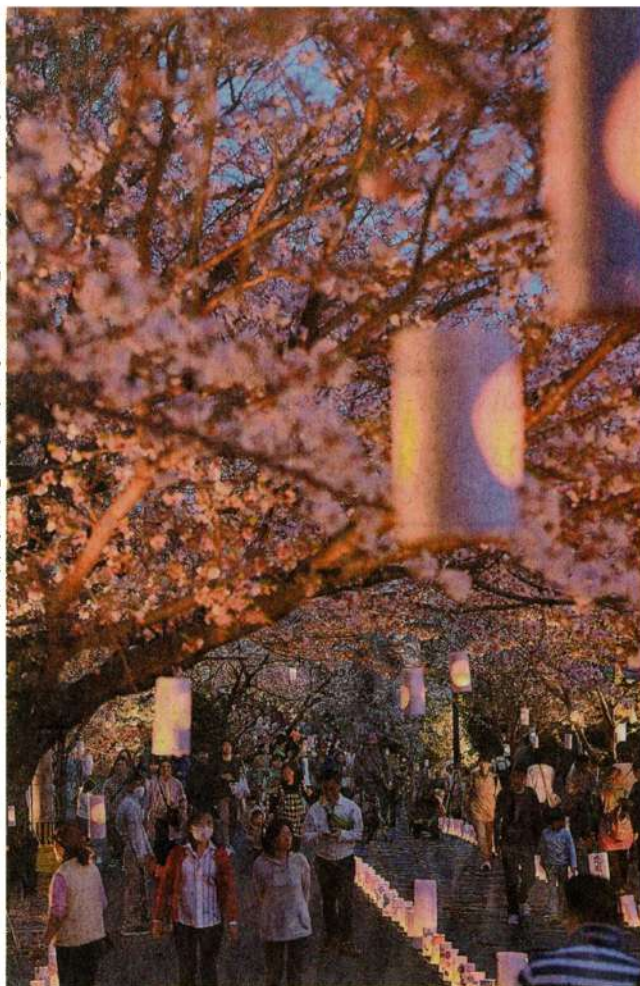


桜に酔う春一夜

熊本市
本妙寺



柔らかな明かりで幻想的な雰囲気にも包まれた「本妙寺桜灯籠」

|| 31日午後6時55分ごろ、熊本市西区の本妙寺参道（高見伸）

約4千個の明かりに照らされた夜桜をめぐる「本妙寺桜灯籠」が31日夜、熊本市西区の本妙寺参道で開かれた。昨年は熊本地震の影響で中止しており、2年ぶりの開催。大勢の見物客が幻想的な光景に酔いしれた。

仁王門から拝殿に至る参道約600段には住民らが手作りした和紙灯籠や竹製オブジェが並び、桜の枝には竹灯籠がつるされた。一帯の寺院では琵琶や雅楽なども奏でられ、散り始めた桜に風情を添えた。

地元の花園校区自治協議会や崇城大でつくる実行委員会が2002年から続けている。実行委の境長一郎事務局長(63)は「仁王門などは地震で損傷したままだが、何とか再開できてうれしい。寺は地域のよりどころ。復旧にも協力したい」と話した。(猿渡将樹)